

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

90

令和4年
1月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年御挨拶

謹賀新年。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

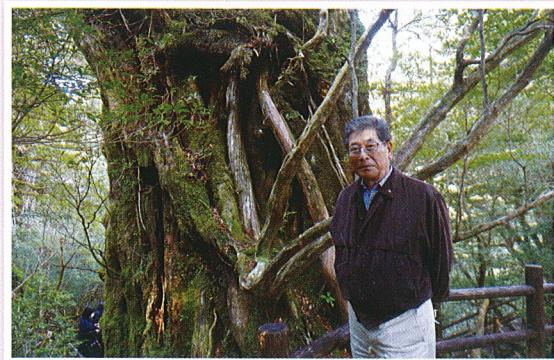
今年の干支は、寅です。寅年と言っても壬寅(みづのえとら)といって、厳しい冬に耐えて春の草木が芽吹き始め、生命力に溢れた、新しい年となる、縁起の良い寅年です。

さて、この広報誌「麦の穂」は平成7年5月25日発刊で、一時中断の時期もありましたが今日まで続いている。『麦の穂』の名付け親は、かつてリハビリに在籍していた川口まつ美さんです。彼女は命名の由来について、こう述べています。「麦の穂は青々として新鮮で隣り合った麦ともぶつかりすぎず、特に背の高いものも低いものもなく、収穫の日まで精一杯頑張って成長していく。私達も毎日仕事をしていく中で、仲間とぶつかりすぎず離れすぎず、上下の差もあまり無くお互いを尊敬し合って自分の力を充分出していい仕事をする。それによって病院の収穫に繋がってゆけばいいと、このような事を考えながら『麦の穂』と命名した」そうです。誇りに感じる素晴らしい職員だったと思います。

昨年も日本中がコロナ禍で、国民は非日常を強いられましたが、みんなコロナ予防三原則を守り、ワクチン接種率も昨年末で80%に近づき、やっと落ち着きを取り戻し、街のにぎわいも戻りました。しかし、昨年12月には感染力が強いとされる新型コロナの変異株、オミクロン株が日本国内で確認され、再び警戒感が強まっています。

昨年10月4日には政権が菅義偉内閣から新たに岸田文雄内閣となりました。岸田総理には広島県出身という身びいきからだけではなく、新たな積極的な経済政策を打ち出し期待されています。「新しい日本型資本主義～新自由主義からの転換～」とうたい、「規制緩和・構造改革の新自由主義」は「富める者と富まざる者の分断を発生」するが故に「成長と分配の好循環」を通じた格差縮小を重視しています。折しも、世界の民主主義のものとの資本主義も、米国、ドイツ、フランスなどに「K字の傷」と言われる貧富の差が拡大してきており、岸田政権のこの様な経済政策は時宜にかなったものだと思います。しかし一方で、新型コロナウイルス対策で政府は65.4兆円という巨額の予算を計上しましたが、未執行の30兆円超の予算を21年度に繰り越しました。未執行の予算は景気回復を図るために経済政策のための原資と言われています。しかし、長引くコロナ禍の中で、病院は厳しい経営に直面しています。その上に、次に感染の大きな波が来た時には、平素は感染症を扱っていない病院でもある程度受入れをせざるを得ないと思います。そのためには公的、民間、専門性を問わず、感染症患者受け入れのパイを増やしておく必要があり、病院内インフラ整備をする必要があります。だが悲しいかな、その様な体力を我々は持ち合わせていません。経済対策ももちろん重要ですが、未執行予算を我々のほうにも眼を向けていただき、バランスの良い予算の執行をお願いしたいものです。

今年こそ新型コロナ感染症が終息し、又、世界中で戦争というものが無くなり、本当の平和が訪れる 것을祈念します。



神秘的な樹齢千年を超える屋久杉の前で

もくじ

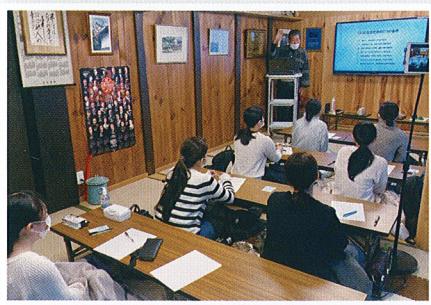
- ① 新年御挨拶
- ② 入職2年目フォローアップ研修を行いました
「ロボットを用いた上肢機能訓練」が脳卒中治療ガイドライン2021で新たに推奨されました
- ③ 第24回 日本臨床脳神経外科学会に参加して
- ④ アラキッズルーム給食参観に行ってきました！／管理栄養士のおすすめメニュー
- ⑤ 連携医療機関のご紹介 — (広島中央保健生活協同組合 草津診療所) —



入職2年目フォローアップ研修を行いました

令和3年12月10日、医療法人光臨会の研修施設である開東館（庄原市西城町）において、令和2年4月入職新卒職員、資格取得2年目職員を対象としたフォローアップ研修を行いました。この研修は入職および資格取得後1年半を経た機会に、今後の目標を明確にし、当法人に対する理解を深め、親睦を深めることが目的です。本来は入職1年後の3月にこのフォローアップ研修を行っていますが、コロナ禍のためこの時期の開催となりました。

対象者は看護部門、リハビリテーション部門、臨床検査・輸血部門から7名で、最初に荒木攻理事長からの講話を受けた後、グループに分かれて門松作り、餅つき体験や屋内・屋外での作業を順に行ってきました。尚、理事長の講話は、開東館と当院の研修室とをオンラインで繋ぎ、院長、管理本部長をはじめ、研修に参加する職員の上長も視聴し、共有しました。



「ロボットを用いた上肢機能訓練」が 脳卒中治療ガイドライン2021で新たに推奨されました

この度全面改訂された脳卒中治療ガイドライン2021にロボットを用いた上肢機能訓練が新たに推奨され、その根拠の一つに当院の研究論文が引用されました。

当院では世界初の装着型サイボーグであるHAL[®]をはじめ、様々な機器を使用して発症早期から積極的にリハビリテーションを行っています。今回の論文は、急性期から積極的にロボットを用いたリハビリテーションを行ったことが、運動麻痺の改善だけでなく、服を着替える等の日常生活動作の改善に繋がったことを示した論文です。

岩本優士主任作業療法士のコメント：

「今回引用された論文では、上肢治療用ロボットの1つであるHAL[®]を用いたリハビリテーションが、脳卒中の患者さんの上肢運動機能や日常生活動作能力の有意な改善に繋がることを報告させていただきました。今後はHAL[®]を用いたリハビリテーションに効果を示しやすい患者さんの特徴について検証し、治療効果をより高めるプロトコルの検証を行っていきたいと考えております。今後も患者さんにより良いリハビリテーションを提供していくよう日々精進していきたいと思います。」



当院の研究論文は以下の通りです。

Iwamoto Y, Imura T, Suzukawa T, Fukuyama H, Ishii T, Taki S, Imada N, Shibukawa M, Inagawa T, Araki H, Araki O.: Combination of Exoskeletal Upper Limb Robot and Occupational Therapy Improve Activities of Daily Living Function in Acute Stroke Patients. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2019 Jul;28(7):2018-2025.

第24回 日本臨床脳神経外科学会に参加して

令和3年11月11日（木）・12日（金）の両日、沖縄コンベンションセンターにて「第24回日本臨床脳神経外科学会」が開催され、荒木 攻理事長が座長を務め、当院からは4演題の発表を行いました。



◆学会発表演題

多変量解析による経営指標の分析結果について	庶務課長	梶原 誠人
「口から食べたい」患者の思いに向き合うことが難しかった事例	主任看護師	鈴木 桂子
回復期病棟の患者に対する心理状態の変動と心理的ケアの有効性について	公認心理師	西川 大志
導尿が必要な脳卒中患者への自宅退院支援を振り返って	社会福祉士	尾本 仁美

〈演題発表を終えて〉

今回の学会で、私は「経営・事務」のセッションで口演発表させていただき、全国の病院の事務職の方との交流を持てたことが一番の収穫でした。また、大会長である上田裕一先生（もとぶ野毛病院理事長）が開催前の2021年2月に逝去され、追悼講演などの企画がいくつもありましたが、上田先生のお人柄や、医療だけでなく文学や環境問題、アスリートの育成など多岐に渡りご活躍されていたことを知ることができ、私も自分の枠にとらわれず、もっと人としての幅を広げたいと感じました。 積務課長 梶原 誠人

庶務課長 梶原 誠人

本学会では、倫理的ジレンマを感じ、迷いながらも多職種で関わった事例について発表しました。発表を通じて多忙な業務であっても倫理的視点を持ち、課題に気づき、患者さんのためにどうすればよいのか考え、行動することの大切さを改めて感じました。

講演会では様々なロボット、AIなど科学技術を利用したリハビリテーションの開発が進んでいることも学ぶことができ、学会のテーマであった、「協働 共生 平和の理念に基づく医療ネットワークの創出」は、人ととの繋がりだけでなく、人と科学との協働もあると感じました。主任看護師 鈴木 桂子

主任看護師 鈴木 桂子

私自身、本学会で発表を行うのは2回目ですが、心理職が国家資格化され、ライセンスホルダーとしては初めての学会発表でした。私の発表内容は、心理師の介入効果についてエビデンスを重ねていくための内容でしたが、同領域の心理師の方からご質問いただく経験ができたことは、私自身の臨床の幅を広げることに繋がったと思います。脳神経外科領域での心理職の認知度を高め、必要性を伝えていく貴重な機会となりました。

公認心理師 西川 大志

本学会は、私自身にとって初めての参加、初めての演題発表でした。コロナ禍の中での参加でしたが、普段知ることのできない多職種、他院の取り組みを知ることが出来、多くの学びを得ることが出来ました。今回、発表に向けて取り組んだこと、他演者の発表から得たことを、業務の中で生かしていきたいと考えます。また、今後も引き続き、頼りになるソーシャルワーカーを目指し、日々努めていきたいと思います。

社会福祉十 尾本 仁美

アラキッズルーム給食参観に行ってきました!

当法人では、ワークライフバランスに配慮した職場環境の整備の一環として、365日24時間対応可能な法人内保育園「アラキッズルーム」を設置しています。

令和3年11月16日、「アラキッズルーム」で行われた給食参観に参加しました。

この日は子供達の給食のお手伝いをしながら、先生方や保護者同士での情報交換を行ないました。

子供たちの給食は、荒木脳神経外科病院の食養科から提供して頂いています。娘のアレルギーにも配慮された、栄養満点のとても美味しい給食で、親子共々とても助かっています。

野菜を嫌がることなく食べたり、自らスプーンを持って食べたりと、自宅では見られない姿を見せてくれてとても嬉しかったです。お別れの時は泣いてしまう子もいましたが、それもまた微笑ましい光景でした。

今回の参観は、日々の保育園での様子を知ることが出来るよい機会となりました。先生方がいつも優しく子供達の成長を見守って下さっているお陰で、安心して仕事に従事することができ本当に感謝しています。

お忙しい中、こういった機会を設けて下さり有難うございました。

リハビリテーション部 作業療法士 村方 裕実子



管理栄養士のおすすめメニュー

《水菜》

水菜は古くから京都を中心に関西で栽培されたため京菜とも呼ばれ、壬生菜（ミブナ）と並び京都の伝統野菜の一つです。葉がひいらぎのようにギザギザしているのが水菜、ギザギザがないのが壬生菜です。水菜はすっかり全国の食卓に定着し、今では関西以外の地方でもたくさん作られるようになりました。ハウス栽培などが進み、ほぼ通年市場にはありますが、本来は冬から早春の野菜です。水菜の主な栄養価はビタミンC、βカロテン、ミネラル（カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄など）を多く含んでいます。緑色が鮮やかで、色の濃いものを選びましょう。シャキシャキした食感のため、冷凍すると大切な食感が損なわれ、纖維っぽく感じてしまうため冷凍保存には向いていない食材です。漬物やお浸し、煮物や炒め物、鍋の野菜やサラダなどいろいろな料理に適しています。

管理栄養士 池永 知子



☆桜エビとシャキシャキ水菜たっぷり食べる塩麹スープ

〈材料〉4人分

水菜	150 g	(A) 水	700mℓ	白いりごま	適量
桜エビ	20 g	(A) 塩麹	大さじ2		
絹ごし豆腐	100 g	(A) 顆粒和風だし	小さじ1		



- ① 水菜は根元を切り落とし、5cm幅に切る。絹ごし豆腐は一口大に切る。
- ② 鍋に (A) と①、桜エビを入れ、強火で沸騰させたら中火にして2分煮込む。
- ③ 器に盛り、白いりごまをトッピングする。



広島中央保健生活協同組合 草津診療所

住 所：〒733-0861

広島県広島市西区草津東1丁目11-43

T E L：082-272-8665

F A X：082-273-8484

診療科目：内科

所 長：福山 慎二

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	▲ 第2・4土曜 のみ診療	—
14:00～17:00	●	—	●	●	●	—	—
17:00～18:00	—	●	●	—	—	—	—



福山 慎二所長



2019年4月から広島中央保健生活協同組合草津診療所での診療を行っています。3年近く経ちますが、荒木脳神経外科病院には大変お世話になってきました。脳梗塞など脳神経外科領域はもちろんですが、外来や在宅診療の患者さんでの発熱、意識障害など多様な症状にすぐに対応頂き、大変心強い思いを何度もいたしました。あらためて御礼申し上げます。一人で診療している診療所の医者にとっては気安く相談できる敷居の低い救急病院ほどありがたい存在はありません。

当診療所は50年近くの歴史があります。名前からお分かりのように生活協同組合が設立し運営する診療所です。出資、利用、参加が協同組合の趣旨ですが、1955年に福島医療生活協同組合（1978年広島中央保健生活協同組合に改名）が設立され福島診療所（福島生協病院の前身）が開設されました。草津地域での被爆者健康相談会など生活協同組合の活動の広まりとともに1974年（昭和49年）に草津診療所が開設されました。その後生協さえき病院、コープ五日市診療所、看護介護関連事業所などを開設し、組合員約3万人の保健生協となりました。

当診療所外来は内科一般での診療で、先の所長の世戸医師の外来診療も継続しています。以前から在宅診療を行っており、隣接する訪問看護ステーション草津かもめ、24時間定期巡回訪問介護看護くさつ24や、多くの地域の看護介護関連の皆さんのお力もお借りして在宅での生活や療養を支える診療に務めているところです。また、組合員活動として、100歳体操、絵手紙班会など、コロナ禍で制限はありますが、健康づくり、つながりづくりをめざした活動が、診療所で開かれています。

草津は歴史の町です。先日、地域にあるお寺などを歩いてみました。街道の雰囲気も残っており歴史を感じることができます。資料をみながら、またあちこちを歩いてみようと思っているところです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります



外来担当医表

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初 診	渋川	中原	沖	江本	黒川	広大
		荒木院長	黒川	江本	沖	渋川	江本	
	初再診	沖	野坂	渋川		荒木院長		
		荒木理事長	加納			加納		
午後	初再診	野坂	沖	広大	加納	沖	広大	
			加納					
脳神経内科	午前	初再診				青木		
けいけん外来 (小児科)	午後	再診のみ		岸			岸	
総合診療	午前	初再診	野村 (循環器内科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	梅本 (循環器内科)	野村 (循環器内科) 井上 (消化器内科)
			梅本 (循環器内科)	梅本 (循環器内科)	野村	梅本 (循環器内科)	藤井 (外科)	野村 (循環器内科)
	午後	初再診	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	浅本 (消化器内科)	浅本 (消化器内科)		

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6300

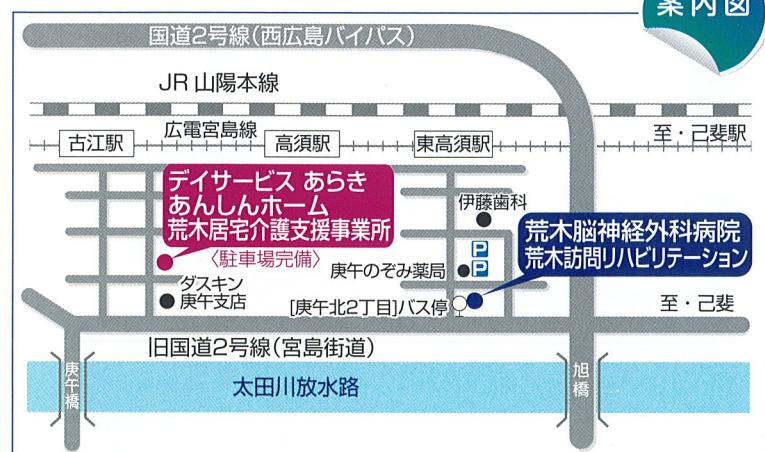
診察時間

午前 9時～12時
(初診受付：午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付：午後 5時30分迄)

診察予約は
082-272-1114 (代表)
へお電話ください。
救急は 24 時間受付けております

*井上名誉教授
第1土曜日 月1回

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前